

支部 Newsletter

北海道支部

◎第60回大会の開催(報告)

日本英文学会北海道支部第60回大会が、11月1日(日)に、北海道大学人文社会科学総合教育研究棟において開催されました。参加者は約65名でした。今大会も、計8件の研究発表・招聘発表をはじめとして、特別講演(玉井暉氏)、セミナー(柳朋宏氏)、文学部門シンポジウム(上西哲雄氏、久保拓也氏、吉田明代氏、水野尚之氏)、語学部門シンポジウム(野村益寛氏、對馬康博氏、水野政勝氏)が行われ、充実したプログラムとなりました。参加くださった会員・一般の皆様、ご登壇くださった方々、大会準備にご尽力くださった学会および開催校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

◎『北海道英語英文学』第61号の原稿募集について

現在『北海道英語英文学』第61号の原稿を募集しています。締切は2016年5月10日です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第60号(『英文学研究支部統合号』第8巻)の巻末または支部ホームページをご覧のうえ、どうか奮ってご応募ください。

◎第61回支部大会について

詳細が決定し次第ご案内致しますので、今しばらくお待ちください。

◎支部会員情報登録のお願い

北海道支部事務局では、支部会員名簿作成に向け、会員の方々に会員情報登録へのご協力をお願いしております。まだ登録されていない会員は、オンラインフォームよりご入力くださいますようお願い申し上げます。ご不明な点は、事務局(hokkaido@elsj.org)までご連絡ください。

以上(文責 金井彩香)

東北支部

◎第70回支部大会開催報告

第70回東北支部大会が、2015年11月7日(土)・

8日(日)の両日に、宮城学院女子大学で開催されました。のべ参加人数は、二日間で約120名でした。詳細は、東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)からご覧いただけます。

◎東北支部研究振興事業の規程改訂

支部大会時の特別講演について、東北支部の予算規模に見合った形とするため、謝礼が3万円に減額となりました。詳細は東北支部ホームページをご確認下さい。

◎『東北英文学研究』第6号発行および第7号原稿募集

『東北英文学研究』第6号が『英文学研究支部統合号』第8巻に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第7号の原稿を募集しています。締切は2016年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

◎お詫びとお知らせ

『英文学研究支部統合号』第8巻に合本される形で発行された『東北英文学研究』第6号において、論文の執筆者名に誤りがありました。関係各位に深くお詫び申し上げます。

[誤] 高橋史明 → [正] 高橋史朗

[頁] 目次、9頁(論文の著者名)、ならびに10、12、14、16頁の上部

関東支部

◎第11回支部大会開催報告

第11回関東支部秋季大会が、2015年10月31日(土)に、慶應義塾大学日吉キャンパスで開催されました。研究発表4本、部門別シンポジウム2本、メイン・シンポジウムがあり、のべ参加人数は、約120名でした。

◎『関東英文学研究』第9号原稿募集

『関東英文学研究』最新号が『英文学研究支部統合号』第8巻に合本される形で発行されました。また、現在『関東英文学研究』第9号の原稿を募集しています。締切は2016年5月15日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、

事務局(kantohenshu@elsj.org)宛に、奮ってご応募ください。

◎関東支部2016年度夏季大会、発表者募集

支部第12回大会となる夏季大会が2016年6月18日(土)、青山学院大学青山キャンパスで開催されることに決定いたしました。夏季大会の研究発表・ワークショップの応募締め切りは、3月31日となります。応募要領は支部ホームページ、およびメールマガジンにてご確認ください。

(文責 佐藤光重)

中部支部

◎第67回支部大会報告

2015年10月17日に第67回支部大会が名古屋工業大学にて開催されました。3件のシンポジウム、14件の研究発表が行われ、懇親会も盛況のうちに閉幕しました。開催校関係者の皆様、シンポジウム講師、発表者、司会者の皆様、当日参加された会員の皆様、協賛いただいた出版社、書店の皆様にはあらためてお礼申し上げます。

講師、発表者の方々には9月に刊行されますプロシーディングズへのご投稿の権利がございます。詳細につきましては4月初旬にご連絡の予定です。また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討していただければ、尚幸いです。

◎支部総会報告

支部大会に先立ち、当日支部総会が開催され、以下の議題について審議されました。なお、総会議事録につきましては支部ホームページに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 昨年度会計決算報告
3. 今年度予算案
4. 次年度支部大会開催校
5. 次期理事選挙の施行手順変更の可能性について

◎『中部英文学』第36号投稿

『中部英文学』第36号投稿締切は4月10日(日)

必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を厳守の上、奮ってご投稿ください。なお、投稿規定の投稿資格に関する条項を一部修正しました。すでに会員資格をお持ちの皆様は、原則として応募年度の会費支払いを証明する書類のご提示をいただく必要がなくなりました。

◎第68回支部大会発表募集

第68回支部大会は10月15日(土)、富山大学五福キャンパスにて開催されます。研究発表応募締切は5月31日(火)必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は速やかに日本英文学会本部事務局と支部事務局にご連絡ください。まだメールアドレスを登録されていない方はぜひご登録をお願いいたします。登録される際は、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願いいたします。

以上(文責：丸山 修)

関西支部

◎関西支部第10回大会について

2015年12月20日(日) 11:00より、関西支部第10回大会が武庫川女子大学と共催で武庫川女子大学中央キャンパスにて開催され、3件の招待発表を含む20件の研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。共催事業ということもあり、43名の非会員を含む約170名の参加者を数え、懇親会にもおよそ100名の出席者を得て盛会裏に終わりました。

大会準備にご尽力くださった学会関係者の皆様、および共催事業としてさまざまな援助を提供してくださった武庫川女子大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

◎役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、支部長、大会準備委員長、機関誌編集委員長からそれぞれ事業報告があったほか、会

計報告案が承認され、第11回大会の開催校に神戸市外国語大学が選出されました。また、総会では以上の件について報告がなされました。

◎機関誌第10号の投稿について

『関西英文学研究』第10号の投稿締切は4月末日です。特にキャリアの浅い研究者による優れた論文には奨励賞が与えられますので、奮ってご投稿ください。

◎関西支部第11回大会の研究発表の応募について

関西支部第11回大会は、2016年12月17日(土)(仮)に神戸市外国語大学で開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

中国四国支部

◎中国四国支部第68回大会報告

平成27年10月24日(土)、25日(日)の両日、広島修道大学(広島市)において中国四国支部第68回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。水野和穂氏、福元広二氏、塩田弘氏をはじめとする開催校の関係者の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(24日)は、高橋渡支部長による開会の辞でもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は中国四国支部のみならず、他支部会員の皆様にもご参加いただき、合計18編が行われました。

特別講演は、今村楯夫氏(東京女子大学名誉教授)による「ヘミングウェイの愛したスペイン—その絵画的世界—」(司会：鳴門教育大学教授 前田一平氏)がありました。特別講演の後、広島市内の「オリエンタルホテル広島」にて塩田弘氏の司会のもと、懇親会を催すことができました。多数のご参加どうもありがとうございました。

第2日目(25日)は、広島大学教授の吉中孝志氏(司会)の主導のもと、大野英志氏(倉敷芸術科学大学准教授)、竹山友子氏(関西学院大学准教授)、天野みゆき氏(県立広島大学教授)、岩田美喜氏(東北大学准教授)によるシンポジウム「イギリス文学と感情の修辞学」があり、フロアとの活発な質疑応答が行われました。そのあと、吉中孝志副支部長の閉会の辞をもちまして全日程を終了しました。

本大会も昨年度に引き続き開催校(広島修道大学)のご協力により保育室を設置することができました。

◎理事会報告

支部第68回大会に先立ち、10月24日の午前中に理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

烏克也事務局長補佐が平成26年度決算報告(支部事務局と編集委員会)を行い、会計監査(水野和穂氏、小野章氏)により正確に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 学会誌投稿規定の変更について

中川憲学会誌編集委員長より、投稿規定の修正について提案があり、承認されました。新投稿規定は平成28年度発行予定の『中国四国英文学研究』第13号(平成28年5月15日締切)より適用されます。詳細は以下の「新投稿規定について」の項および支部ホームページをご参照ください。

3. その他

地村彰之氏より、広島県代表者の辞退と来年度以降の後任決定が提案され、新田玲子氏が後任となることが承認されました。

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

平成28年度の第69回大会は、10月29日(土)・

30日(日)の両日、愛媛大学で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(必着)です。たくさんのご応募お待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第13号(英文学研究支部統合号第9巻)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(必着)です。投稿規程は、「新投稿規定について」の項および支部ホームページ(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/phoenix/chusi-eng/studies.html>)をご覧ください。

◎新投稿規定について

理事会において承認された新投稿規定の主な変更点は、以下の通りです。

1. 字数、ページ数等を本部編集の『英文学研究』の規定に合わせる。(和文の場合、18,000字[スペースを含めない文字数]、A4サイズに横書きで40字×30行、15枚以内とする。英文の場合、7,000語以内とする。上記の長さには本文及び註を含むが、樹形図、表、グラフ、数式、図版及び論文末尾に加える引用文献についてはこの制限外とする。)
 2. 紙媒体での提出を廃止し、電子ファイル(Wordファイル・pdfファイルの両方)での投稿に一本化する。
 3. 「投稿者情報・論文チェックシート」ファイルを添付する。フォーマットは支部ホームページよりダウンロードしてください。
- その他、新しい投稿規定の詳細につきましては、支部ホームページをご覧ください。

以上(文責：高橋渡)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第68回大会が2015年10月24日(土)、25日(日)の両日に佐賀大学にて開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただいた、早瀬博範、木原誠、名本達也諸先生方を初めとする関係者、及び、学生の皆様に心よりお礼を申し上げます。

◎2015年度第2回支部編集委員会が2015年10月24日(土)に開催されました。その後、支

部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。詳細な議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第31号(支部統合号Vol. VII)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第32号(支部統合号Vol. VIII)について
3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
 - ・九州工業大学教授、虹林慶氏の“Creating One’s Own Inner Sun: Existential Poetics in Swinburne’s Seascape Poems”に優秀論文賞を授賞することが決定された。今回は奨励賞の該当はなかった。
4. 投稿論文の投稿方法と枚数制限、その他について
5. 委員の交代について
 - ・村里委員から辞任の申し出があり、後任として虹林慶氏の委員選任が了承された。
 - ・太田委員より編集委員の辞退の申し入れがあり、後任に関しては事務局がメール会議にて協議を重ね、その結果を報告することで承認された。
6. 大会「招待発表者」について
 - ・招待発表者の発表内容に基づき『九州英文学研究』への投稿の懇請依頼を判断することとし、依頼する場合は、各部門の編集委員長・副委員長からお願いすることとなった。
 - ・懇請論文投稿の打診を受けた執筆者でも、一般論文として応募したい場合は、一般論文として審査を受けることができるということがあらためて確認された。
7. 支部大会統合プロシーディングズについて

《評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告
2. 会計報告
 - ・事務局長の高野より、平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)支部会計報告が行われ、監査の太田一昭理事(九州大学教授)から確認の報告があった。

- ・事務局長の高野より、平成27年度会計の中間報告、ならびに平成28年度予算案が提案され、承認された。
- 3. 統合号出版経費負担について
- 4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
- 5. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
 - ・全国大会は京都大学、支部大会は中村学園大学で開催することが報告された。

- ・九州支部ホームページ・アドレス
<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>
以上(文責 高野泰志)